

～ 富士のすそのから被災地へ 心ひとつに～

東日本大震災支援・連帯ニュース

2011/5/6 震災57目 静岡民医連

支援隊からの現地レポート報告



小見山暁さん（外来医事課）より

< 5/2月 6日目 >

本日も引き続き多賀城文化センターに避難所訪問をおこないました。今日の訪問は午前と夜間の二回行いました。今日も事務局の仕事でしたが、本日は足浴の範囲を広げると言う事もあり事務局だけでなく足浴をメインに行いました。

こられた方の中には在宅酸素をされ避難所生活をされていたり本当に大変な状況の中に生活しているんだと実感しました。一週間でしたか色々な体験ができ、生活されている方の役にたてたので良かったです。

< 5/3火 7日目 >

静岡に戻りました。

一週間の支援で凄まじい状況も見てきましたが、その中でも笑顔も見れて良かったです。

人の強さを感じられた気がします。

被災地の状況は手付かずの場所もありますが着々と復興に向かってます。

少しでも早く復興できれば良いと思います。



池谷建二さん（すみれの郷）より

< 5/2月 6日目 >

お疲れ様です。きょうは、宮城野の里でデイサービスの支援を、させていただきました。ふだん行っている業務と似ていることもあり、また、五日目と言うこともあり、スムーズに行えたと思います。支援内容は、入浴者の更衣やドライヤー、レクリエーションのサポートなどです。

< 5/3火 7日目 >

無事に帰って来ました。今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございます。遠山専務とすみれの郷の皆さんのおかげです。ありがとうございます。一週間という長い間の時間を作ってくれた事を感謝します。自分のわがままで迷惑をかけたと思います。

一週間同じ施設だったので、同じ被災者と関わる事も多く、距離が縮まるに連れ、信頼関係ができ、帰る日は足が悪かったり車椅子の方もいるのですが外まで見送ってくれました。ひとに感謝されると、なんだか疲れも感じなく心が癒されるような気分でした。まだ、ここで支援ができたと思います。また、全国から集まった支援者の人も、とてもチームワークよく直ぐに打ち解けることができました。ありがとうございました。

